

## 「感謝」の心を胸に！

2学期中間考査が終了し、始業式から今日で59日目。長丁場の学期も半分以上が経過しました。生徒のみなさんは、デザインした2学期を計画どおり実行できていますか？考査の結果を自己分析して、弱点を洗い出し、課題を解決するために、仲間と復習したり教科の先生を頼りにして勉強しましょう。図書館の活用もお勧めです。

10月5日(土)、第30回仁高祭の一般公開を史上初「にかほっと」で開催しました。4日(金)の開祭行事で、私は「感謝」をキーワードにみなさんにメールを送りました。何事もそうですが、初めての体験には不安やリスクがつきものです。これまで29回に渡り保護者や地域の皆様が学校へ足を運んでいただいた経験知を基に、さまざまな課題を改善したいという意欲が、今回「にかほっと」開催を実現させました。地域のコミュニティづくりに、学校全体で参画する画期的な取り組みだと評価しています。4日(金)の午後は悪天候のため、「にかほっと」で行う準備作業も十分にはできず、5日(土)の早朝から急ピッチの対応でしたが、「師友もろとも手を取りて」実行委員会や3年生を中心にテキパキと準備を進め、10時の一般公開を迎えることができました。特設ステージで吹奏楽部の演奏が始まると、沢山の人が集まりました。「明日はきっといい日になる！」の演奏時には、聴衆は各々リズムを取りながら聴いていました。私はバイオリン演奏の優雅さ、歌やダンスパフォーマンスの躍動感に驚きました。模擬店や美術部、写真部、1年生の「いちじくいち」展示コーナー、特別企画「鳥海山コンクール」、茶華道部のお茶会等、催しは大盛況で、観光客の皆様も含め、みんなが笑顔でした。

一方、旧上郷小学校を会場に開催された「いちじくいち」に参加した1年生は、いちじくの袋詰めや来場者の案内、ゴミ箱のチェックや清掃等、多岐に渡る仕事を通して、来場者やスタッフ、出店者の皆様とふれあうことができ、幸福な一時を過ごしたと思います。仁賀保高校生のあいさつや接客について、来場者からお褒めの言葉をいただきました。スタッフからは1年生の献身的な活動に「感謝のことば」もいただいております。

10月5日(土)、仁賀保高校生は学校外の2カ所で、「感謝」の心を言葉や表情、行動で表現する機会を得ることができました。家族や地域の皆様のみならず、県内外あるいは外国の観光客の皆様との出会いや交流がありました。これらの体験を機会に、仁賀保高校に集い、学ぶ意欲と情熱がある「師友」は、今まで以上に地域社会での活動を大切に、「感謝」の心を育んでいきましょう。

「にかほっと」で飲食店を営んでいる本校一期生の方から、『仁高祭を「にかほっと」で開催してくれたおかげで、久しぶりに自分と同じ世代の同窓生に会えた。生徒の保護者や知り合いがいっぱい来場してくれてありがたい』と感謝の言葉をいただきました。他の経営者の皆様も、「とても賑やかで楽しい。生徒のみなさんのおかげで若返ることができた。明日6日(日)はやらないのか？来年も楽しみにしている」と嬉しいコメントを沢山いただいております。

不安やリスクはありましたが、温かいお言葉をいただき、地域の皆様が、仁賀保高校に期待していることがよくわかりました。私達「仁賀保生」は、これからも「師友もろとも手を取りて」感謝の心を胸に秘め、地域の皆様に笑顔と喜びを届けていきましょう。

## 仁高生よ、世の光なる人たらむ！

- ★ アイコンタクト (i con t act) を心がけてください。目と目で通じ合い、face to face で向き合いながら、「考えながら行動する」笑顔の素敵な人間たれ！
- ★ メモ をとる習慣を確立しましょう。生徒手帳をフル活用してください。メモをとる習慣は、将来必ず役に立ちます。
- ★ 意識力 = 意思・意志 (瞬間) + 気力 (持続) です。意識力を育成することで、学ぶ力が増幅します。考えたことを継続してやり抜きましょう。
- ★ GTH は、「疑問→探究→発見」という学びの方程式です。
- ★ 「自己有用感」を高めてください。そのためにあなたはなにに挑戦しますか？  
自分が誰かの役にたつためには、感謝の心と自己肯定感を持つことが大切です！